

大谷学会

◇春季公開講演会「決断と行動」

五月二十三日(木) 午後一時

於 講堂

ドラマを始める―ヘーゲルの観たハム

レット― 本学教授 門脇 健

「正義」の仮面に隠された怒りと羨望

精神科医 片田珠美

真宗総合研究所

◇研究所委員会

三月十八日(月) 午後一時

於 響流館会議室

・二〇一二年「特定・指定研究」の

研究成果について

・二〇一三年「特定・指定研究」の

研究計画について

・一般研究の採択基準(案)について

五月十七日(金) 午後一時

於 博綜館第四会議室

・二〇一三年「特定研究」の研究員

追加について

・二〇一三年「一般研究」研究組織

について

・客員研究員の委嘱について

・特別研究員人事について

◇学術交流連絡会

五月九日(木) 午後〇時十五分

於 博綜館第三会議室

・ベトナム社会科学学院宗教研究院の来

日について

◇「特定・指定研究」研究成果報告会

三月八日(金) 午後一時

於 響流館マルチメディア演習室

・二〇一二年「特定・指定研究」の

研究成果について

真宗学会

◇「親鸞教学」第一〇一号発行

(二月十三日)

◇新入会員歓迎講演会ならびに総会

五月二十一日(火) 午後一時

於 尋源館J一〇三教室

真宗の学び

本学教授 一楽 真

仏教学会

◇卒業論文梗概発表会ならびに

送別懇親会

一月十七日(木) 午後四時二十分

於 尋源講堂

終了後、記念撮影を行い、ビッグバ

レーにて送別懇親会を行った。

◇新入生歓迎講演会

四月十八日(木) 午後一時

於 尋源講堂

仏教心理学入門

仏教学会長 本学教授 織田顕祐

終了後、講堂棟三階ラウンジにて茶話

会を行った。

◇特別展平山郁夫悠久のシルクロード展

五月二十五日(土) 午後二時三十分

於 龍谷ミュージアム

龍谷ミュージアム館長入澤崇氏と本学

任期制助教上原永子氏に解説していた

だいた。

哲 学 会

◇冬期研究会

二月十三日(水) 午後一時

於 響流館マルチメディア演習室
メルロロボンティの「生きられた世界」
と「身体的実存」

本学大学院修士課程第二学年

藤川弘美

現代タイ人の靈魂観と葬送儀礼(タイ

北部の農村の事例を中心に)

本学大学院修士課程第二学年

中村楨也

プラトンの想起説について

本学助教 大草輝政

近代日本における女同士の親密な関係

本学講師 赤枝香奈子

◇『哲学論集』第五十九号発行

(三月二十三日)

〔目次〕

論文

知的障害者の取調べに関する法心理学
的検討 脇中 洋

上田薫の動的相対主義における「論理」

—教育研究における方法論的立場を
めぐる論争を手がかりに—

大野 僚

誰が何を想起するのか

—『メノン』『パイドン』を中心に—

大草輝政

(翻訳) ウィリアム・ジェイムズ「哲

学的概念と実際的結果」

(訳者) 林 研

高原耕平

中嶋庸介

谷口愛沙

浦井 聡

山根秀介

大草輝政

治療を嫌がる問題ギャンブラーをどう

治療の場に定着させるか—クラフト
実践の試み—

滝口直子

学会活動報告

◇二〇一三年度哲学会総会・

『哲学論集』第五十九号合評会

五月二十五日(土) 午後一時

於 響流館マルチメディア演習室

論文合評

知的障害者の取調べに関する法心理学
的検討 脇中 洋

治療を嫌がる問題ギャンブラーをどう

治療の場に定着させるか—クラフト
実践の試み—

滝口直子

合評会終了後、懇親会および新入会員

歓迎会を行った。

西洋哲学・倫理学会

◇春季公開講演会

六月六日(木) 午後四時四十分

於 尋源講堂

カント倫理学と自由の問題

—カントが言いたかったこと

立命館大学文学部教授 北尾宏之

宗 教 学 会

◇『宗教学会報』第十八号発行

(三月十四日)

〔目次〕

第三十回「大拙忌」記念公開講演会

(講演録)

「それでも人生にイエスと言う」
—フランクフルトと東洋思想—

山田邦男

大谷大学哲学科優秀賞受賞卒業論文
脳死臓器移植における看取り

藤川弘美

学会報告

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会一月例会
一月二十六日(土)午後二時

於 響流館演習室四

近世北河内地域における村落研究事始
め—河内国讚良郡三箇村『川合家文
書』を素材として— 大畑博嗣

◇大谷大学日本史の会三月例会
三月三十日(土)午後二時

於 響流館演習室四

エトヴェシ・ロラード大学(ハンガ
リー) 日本学科を訪問して

東館紹見

◇大谷大学日本史の会五月例会
五月二十五日(土)午後二時

於 響流館演習室四
〈修士論文構想報告会〉
大谷派の免囚保護について—機関誌

内田 亮

『救済』を通して—
後光明天皇宸翰製の仏像に関する考察

梶原謙吾

小西行長の人物像の変遷について

中道 悠

御文にみる教化・聖教の系譜

善澤麻子

文 藝 学 会

◇『文藝論叢』第八十号
(故佐藤義寛教授追悼論集) 発行

(三月A5判二八八頁)

〔目次〕

佐藤義寛教授 遺影

佐藤義寛教授 略歴

佐藤義寛教授 著作等目録

佐藤先生追悼の辞

『三教指帰』偽撰説余論—恵果和尚碑

に関する二三の問題— 河内昭圓

救世観音から聖徳王へ—親鸞における

太子観の深化— 織田頭祐
墨家による祭祀の形態とその役割

嘉村 誠

天下篇作者の『莊子』観—『彭蒙・田
駢・慎到論』と『莊周論』を中心に

大角絃一

『管子』における押韻句の分布とその

鈴木達明

思想的背景

將歸操考

于頔「杼山集序」覚書 乾 源俊

現代北京語に関する調査研究—中国ト
ラマ「裸婚時代」第一集前半の訳注

渡部 洋

早川智美

清水由香里

初級中国語のための語彙表比較—中国

語教育学会『中国語初級段階学習指

導ガイドライン』と新HSK—三

級— 浦山あゆみ

一澤美帆

清原文代

田邊 鉄

言語政策研究からみた「華語」という

言葉の広がり 藤井久美子

「新京図書館」のライブラリアンたちの記録(二)―『新京図書館月報』を通じて―
李 青

西洋文学研究会

◇『西洋文学研究』第三十三号発行

(六月二十五日)

〈目次〉

ジェイン・オースティンとアンティグア 浅若裕彦

ドイツにおけるモダニズム(裸体主義文化)の歴史―ドイツ第二帝政からヴァイマル共和国までの時代を中心に―
平井昌也

子どものための『星の王子さま』 藤田義孝

英文学会

◇『英文学会会報』第三十九号発行

(三月十日)

〈目次〉

『ザ・ソルトライン』におけるハリ

ケーン・カミューの表象と土地の倫理

石本哲子

なぜフェイギンは眠らず、ジャスパール

は眠るのか? 渡部智也

二〇一一年度卒業者と卒業論文題目

学会だより

人文情報学科

◇デジタルライブラリーコース

二〇一三年度第一回講演会

六月二十四日(月)午後四時二十分

於 一号館一四一教室

アメリカ(ケンタッキー)の大学図書館で働く

ケンタッキー大学ライブラリアン

日沖和子

短期仏教科

◇『仏教研究紀要』第三五号発行

(三月十五日)

〈目次〉

『仏教研究紀要』第三五号の発刊に寄

せて 大谷大学学長 草野顕之

経教は鏡の如し

仏教科主任 三木彰円

卒業研究・修了レポート要旨

卒業研究・修了レポート全文

菩薩の道―関わりの中の私たち―

榎本 歩

回心―本願との出遇い― 島津芳道

執われのころ―舍利弗と天女の問答

を通して― 藤林善栄

執われのころ

―維摩経を中心として― 八神満喜

親鸞の宿業観―機の自覚― 八木弘子

研究課題名別卒業研究・修了レポート

一覧

卒業研究・修了レポート指導担当者一覧

幼児教育保育科

◇卒業研究発表会

一月二十三日(水)午後四時二十分

於 二号館二三〇一教室

学生会員 投稿規程

1. 本学会学生会員で、『大谷学報』に論文の掲載を希望するものは、指導教員の推薦状を添えて投稿できる（一六〇〇字以内とする）。
2. 投稿された論文は、審査を経て採否が決定される。
3. 論文の審査は、編集委員および編集委員が選任委嘱する審査委員（若干名）によって行われる。
4. 審査の結果は左記の通りとし、②③の場合には、投稿者にその理由を通知する。
 - ① 採用
 - ② 条件付き採用（修正がなされた場合採用）
 - ③ 不採用
5. この規程は、『大谷学報』第八十九卷第一号より適用される。